

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		荷物を置けるロッカーを用意したり上層を掛けるハンガーには名札を付ける等、児童にわかりやすく、構造化した環境となるよう努めております。またトイレには段差があるので職員が付き添っております。事業所が2階ということもあり、階段の上り下りでは転倒などがないように職員が付き添いをするようにしております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日、掃除・消毒・換気をおこなっております。また児童に合わせて活動ごとにスペースを分け、3密にならないように工夫し、心地よい環境設定を心がけております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		活動に応じて机などの配置を工夫し、個室では運動もできる空間を整え、必要に応じて個室でクールダウンができる環境を整えております。療育が必要な空間や場所は国で認められている環境になっております。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	8		その日の勤務のなかで職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認、机の配置など話し合いの場を設けております。また毎月リフレクション会議を実施し、支援の改善点などの振り返りをおこない全職員が情報を共有できるように努めております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有し業務改善に繋げております。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		意見を言いやすい環境設定に努め、毎日の引継ぎや毎月のリフレクション会議などで話し合いをおこない、業務改善に繋げております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8		年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	8		公式Webサイトにて公表しております。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		児童発達支援管理責任者が社内共通フォーマットを使用したアセスメントシートを使用し、計画の作成をしております。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		児童発達支援管理責任者がモニタリング、アセスメントをおこない、原案を作成し、個別支援会議をおこなうなかで児童に関わる職員の意見も取り入れ計画内容を検討しております。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		個別支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援をおこなえるよう努めております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		標準化したアセスメントツールと、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを組み合わせて児童の確認をしております。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		児童発達支援管理責任者が中心となり、児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。家族支援なども支援計画に盛り込み、家庭との連携を図っております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		療育の中で出た課題やアイデアを職員全員で話し合いをおこない、共有し、活動プログラムに取り入れ、プログラムの立案をしております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		集団での機能訓練など、プログラムが固定化しないよう取り組んでおります。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別療育を基本とし、集団活動も取り入れながら、児童の特性に応じた支援計画を作成しております。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日の引継ぎで前日の振り返りや、その日の支援内容や役割、療育場所について確認をしております。		
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	勤務時間の都合上、支援終了後に全職員での打ち合わせを毎日実施することは難しい場合もありますが、必要事項は当日中に共有し、翌日の引継ぎで確実に伝達する体制を整えております。今後も情報共有体制の強化に努めてまいります。	今後も職員間で支援の振り返りや情報共有をおこない密に連携を図ってまいります。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援内容やその日の体調などを記録し、職員間で共有し支援の改善や検証に取り組みしております。		
	23 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		必ず6ヶ月以内にモニタリングをおこない、現状課題の把握をして計画の見直しの必要性を判断しております。		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		児童発達支援管理責任者が中心となり児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成し4つの基本活動を複数組み合わせ支援をおこなっております。		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	8		児童に合わせてですが、その日のスケジュールと一緒に考えたり療育の順番を考えるなど自己選択ができるような支援の工夫をおこなっております。		
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	8		会議前には職員間で話し合い、現状把握をおこなううえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加しております。		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		協力医療機関や障害福祉、療育所、学校などの関係機関との連携体制を整えております。担当者会議や支援会にも積極的に参加できるようにしております。		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		保護者様から、学校行事や時間変更を伝えていたが、学校とも連携を図り、下校時刻の確認など連絡調整をおこなっております。		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等については、担当者会議等を通して情報提供・共有をおこない、支援の方針が統一できるように努めております。		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		関係機関が集まり担当者会議をおこない、卒業後にスムーズに移行できるように情報を共有しております。		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		地域に児童発達支援センターが設置されていないため連携や助言を受ける機会はありません。	地域に児童発達支援センター設置後は連携を図ってまいります。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		感染症などの状況を考えて交流できる機会を考えておりますが、現時点での保育所や幼稚園との交流はありませんでした。	感染症などの交流や活動の場を検討してまいります。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		感染症などの流行状況もあり、現時点での参加機会はありませんでした。	感染症などの流行状況をみて、会議などに積極的に参加してまいります。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡帳に日々の姿や状況を記入し、送迎時に再度その日の様子をお伝えし、日々共通理解を深めております。		
	35 家族の対応力や向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		送迎時に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするように努めております。またご家庭に訪問し、お悩みを聞いて解決に繋げるアドバイスをおこなっております。		
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		保護者様に分かりやすいように丁寧な説明をおこなっております。また契約の際のみならず、質問やご不明な点がないかなどを確認しながら進めております。またモニタリングの際にも再度説明をするように定期的に確認をしております。		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	8		モニタリング、アセスメントをおこない、保護者様のご意向をお聞きしております。児童も同席できるときには、目標ややりたいことを聞き、モニタリングに参加しやすい児童は利用時にやりたいことを聞くなどして目標を確認しております。		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		ガイドラインに基づいて支援計画を作成しております。保護者様へは支援計画の内容を示す中で、わかりやすい言葉を使って説明し、計画の同意を得ております。		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		電話、送迎時、面談をおこない、子育てのお悩みやご質問に助言などの支援しております。またご家庭におうかがいしてお悩みなどが解決できるように助言をおこなっております。		
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		感染症などの状況により、現時点では開催はできておりません。感染症などの流行状況を見て、事業所が企画する交流や活動の機会を提供してまいります。また、少人数のグループで交流できる機会を前向きに検討してまいります。	感染症などの状況をみて、保護者様との交流や活動の場を提供してまいります。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情窓口を定め、迅速かつ適切な対応ができるように整備に努めております。		
	42 定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		公式WebサイトのブログやSNSで情報を発信し、季節ごとに「おたより」を発行しております。事業所の活動等も毎月おたよりで発信しております。		
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、付付きの書類にて厳重に保護しております。また、研修に参加し、個人情報の取り扱いについて全職員に周知徹底しております。		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		保護者様とは、送迎時間の会話や連絡帳での交流を大切にしております。児童の状況や個々の特性に配慮し、絵カードや必要と思われる分かりやすい情報を伝えるように配慮しております。		
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		感染症の状況や個人情報保護の観点から、現時点では地域住民を招待する行事は実施していません。	感染症などの状況や、個人情報の観点や保護者様のご意向を踏まえ、地域住民との交流や活動の場を検討してまいります。	
	非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルは玄関に掲示して、保護者様にも手に取ってご覧いただけるようにしております。また、定期的に児童と共に避難訓練を実施し、おたよりなどで様子をお伝えしております。	
		47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画(BCP)は計画を立てて実施し非常災害を想定した訓練をおこなっております。避難訓練は、年間計画を立てて児童も参加して定期的実施しております。連絡帳のカレンダーで、前月に実施予定日をお知らせし、訓練の状況は次の月の連絡帳カレンダーを通して紹介しております。	
		48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	8		標準化したアセスメントツールを使用し、状況の把握に努めております。また連絡帳などを通して状況の変化も確認させていただいております。	
		49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		指示書がある児童については、保護者様と情報共有をおこない、各児童のアレルギーに関しては全職員に周知しております。	
		50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画で年間の実施時期を決め、計画に沿った研修や訓練を実施しております。	
51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られているか。安全計画に基づく取組内容について、連携等へ周知しているか。		8		事業所内で安全確保についての研修や訓練を実施しております。避難場所などの情報は、お手紙を配布して情報を共有しております。		
52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		8		ヒヤリハット報告を徹底し、紙面におこなって回収し、周知ミーティングをおこないながら、再発防止につなげております。		
53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		8		事業所に虐待防止責任者を認定し、事業所内研修や外部研修に参加し、認識を深めております。また委員会を設置し定期的に開催して全職員に周知徹底をおこなっております。	課題や改善すべき点	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		利用契約書に基づき原則として身体拘束はおこないませんが、万が一、生命または身体の保護のためにやむを得ず必要となる場合は、相場的に判断し、児童および保護者様へ十分な説明をおこない承諾を得たうえで、支援計画に記載し対応いたします。			